



さかぐち しゅうじ  
阪口修司 (52歳)

現職

独立行政法人産業技術総合研究所  
中部センター 中部産学官連携センター 総括主幹

## 国際標準化の推進によるファインセラミックス技術の振興

### 業 績

ファインセラミックスは、機械部品などへの応用が期待される無機材料であり、新規な素材であることから、材料自身の性質を正しく測定し、材料の良し悪しを判別する方法を確立することが求められ、特に国際的な評価方法の規格化に関する議論が必要とされていた。

本活動は、日本が主導して ISO（国際標準化機構）に設置したファインセラミックスに関する専門委員会における活動である。候補者はこの委員会において、材料の基本的な力学的性質である「硬さ」及び「弾性率」測定方法の ISO 規格作成のための作業部会の主査を担当し、議論を主導した。これらの規格は 2000 年及び 2002 年にそれぞれ発行された。この実績を評価され、候補者は 2005 年よりこの専門委員会の国際幹事を担当し、委員会が所掌する規格発行活動に幅広く対応し、30 件以上の ISO 規格発行に継続的に貢献している。

本活動により、ファインセラミックス産業分野における日本の国際優位性の維持に寄与するとともに、国際規格の作成を通じて、この産業分野が健全に発展し良質な製品供給が行われることに寄与している。

**主要論文：**「構造用セラミックスの高温でのポアソン比 (The Poisson's Ratio of Engineering Ceramics at Elevated Temperature)」*Journal of Material Science Letters* (材料科学速報誌)、10 巻 5 号・282-284 頁、1991 年 3 月発表  
「高強度セラミックスのロックウェル硬さとビッカース硬さの相関」*窯業協会誌*、94 巻 10 号・1109-1111 頁、1986 年 10 月発表